

スクールリーダーの資質の向上に関する指標（豊能地区） （大阪府指標をもとに作成）

		第1期	第2期		第3期	第4期
		リーダー充実・発展期	指導教諭	首席	教頭	校長・副校長
1	経営的視点 (課題設定・解決)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育施策等の動向に関心を持ち、必要な情報を的確に集めることができる。 ○ 課題設定・解決のためのクリティカルシンキングができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体に関わる課題を把握するために、情報収集に努めるとともに、教職員の意見等を取りまとめることができる。 ○ 学校教育目標に基づき、学校の直面する課題を認識し、学校全体のアクションプラン作成に積極的に関わるとともに、推進することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の課題を把握し、校長を補佐して教職員を指導することができる。 ○ 学校教育目標に基づき、進捗状況を把握し、計画を進めることができる。 ○ 学校の中・長期的な学校経営ビジョンを校長に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内外の状況を大局的・多面的に把握し、中・長期的な学校経営ビジョンを明確に打ち出し、学校・家庭・地域・関係諸機関と連携しながら対応策を講じることができる。 ○ 課題解決に向けて、進捗状況を把握し、必要な指導・助言を行い、学校経営ビジョンを実現できる。
2	組織管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組織マネジメントの手法(PDCAサイクル、チームビルディング、SWOT分析等)について理解し、その活用ができる。 ○ 人権の尊重や児童・生徒の指導・支援について、問題事象の未然防止も含めた組織的な対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組織的な授業改善等の必要性を理解し、求められる学校づくりを進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協働的な組織づくりのために組織全体の特色を意識することができる。 ○ 組織的な授業改善等に対する取組みを進めることができる。 ○ 人権の尊重や児童・生徒の指導・支援について、問題事象の未然防止も含めた組織運営ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標達成のために協働的な組織をつくることできる。 ○ 授業改善等に対する効果的な組織運営を進めることができる。 ○ 人権の尊重や児童・生徒の指導・支援について、問題事象の未然防止も含め、計画的に行うための組織づくりを進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標達成のために協働的な組織運営を進めることができる。 ○ 授業改善等に対する組織体制を構築し、目標達成のために具体的な取組みを進めることができる。 ○ 人権の尊重や児童・生徒の指導・支援について、問題事象の未然防止も含めた組織運営ができる。
3	人事管理・育成、 サービス管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス、法令について、必要な知識を身につけている。 ○ カウンセリングマインドをもち、メンタリング、コーチング等の技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内外の教職員に対する授業改善等の指導・助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの教職員に対して、気持ちや立場を理解しながら適切な指導・助言を行うことができる。 ○ 組織的な授業改善等の取組みに対する教職員の意識を高めることができる。 ○ コンプライアンスの意識向上をめざし、取組みを推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員のモデルとなるとともに、校長を補佐し、教職員全体に適切な指導・助言ができる。 ○ 組織的な授業改善等の取組みを進め、適切な指導・助言を行うことができる。 ○ コンプライアンス意識の高い学校づくりをめざし、適切な指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員のモデルとなるとともに、教職員全体に指導・助言ができる。 ○ 組織的な授業改善等の取組みをリードし、適切な指導・助言を行うことができる。 ○ コンプライアンス意識の高い学校づくりをめざし、適切な指導・助言を行うことができる。
4	危機・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機・安全管理に対する知識と技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全に関わる研修等を企画し、実施することができる。 ○ 危機・安全管理に対する教職員の意識を高めるために、適切な指導・助言を行うことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の危機管理について、学校・家庭・地域・関係諸機関と連携し、進めることができる。 ○ 管理体制を把握し、緊急の場合に、対応方針に基づいて、適切に教職員に指示を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の危機管理について、学校体制を整備するとともに、学校・家庭・地域・関係諸機関との協力体制を確立できる。 ○ 管理体制が十分であるか常に状況を把握し、緊急の場合に適切に判断し、対応方針を示すことができる。
5	学校事務・財務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校予算、学校徴収金等について知り、経費の節約や予算の効果的、効率的な執行について関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・学年及び対外的な事務を統括し、ICT機器等を活用して遅延なく正確・丁寧に処理することができる。 ○ 学校予算の制度や事務執行について知識を持っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校及び対外的な事務を遅延なく正確・丁寧に処理し、常に点検する。 ○ 必要な予算の確保、執行を適切に行い、常に点検する。 ○ 効果的、効率的な事務執行に向けて、校長を補佐し、改善することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校及び対外的な事務が、遅延なく適切に処理されていることを常に点検し、適正な状態を保持している。 ○ 必要な予算の確保、執行を計画的かつ適正に行っている。 ○ 効果的、効率的な事務執行に向けて、常に点検・改善することができる。
6	渉外	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域・関係諸機関の様々な人と関わり、連携・協働を積極的に進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域・関係諸機関などへの情報発信や保護者からの相談に対応することができる。 ○ 関係諸機関の研究・研修の支援ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域・関係諸機関との連携・協働の核として行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長を補佐して、学校・家庭・地域・関係諸機関と連携・協働し、魅力ある学校づくりを推進することができる。 ○ 校長を補佐して、学校内外に対して説明責任を果たすとともに、情報を発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域・関係諸機関と連携・協働し、困難な課題を解決し、魅力ある学校づくりを着実に実現することができる。 ○ 学校内外に対して説明責任を果たし、適切に情報を発信することができる。 ○ 学校の課題を解決するために広く学校内外においてネットワークを構築することができる。